

北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報 編集規定

I 総則

1. 本年報の名称は、『北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター年報』とする。
2. 本年報の内容は、北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センター規程の研究目的に適う総説、研究論文、研究報告、研究計画進捗状況報告、本研究センターの利用実績、年報編集規程をもって構成する。研究論文については、外部査読者による査読を行う。
3. 本年報に発表する論文等の原稿は未発表のものに限る。ただし既発表の内容を発展させたものは、その限りではない。
4. 本年報に論文等を第1著者として投稿できるのは、プロジェクト研究員、非常勤研究員、共同研究員に限る。ただし、共著者にその他の者を含むことは差し支えない。
5. 同一号に掲載できる同一執筆者の単著は原則として1編とする。
6. 本年報は、原則として年1回の発行とする。
7. 本年報への投稿及び発表希望者は、応募予定報告用紙に必要事項を記入し、定められた日時までに編集委員会に提出する。
8. 総説、研究論文および研究報告の掲載の適否については編集委員会で検討し、北方圏生涯スポーツ研究センター運営委員会で決定する。
9. 編集委員会は、原稿中の字句について校正を行い、また論文等の体裁について再検討を求めることができる。校正は、初校及び再校を著者校正とする。
10. 本年報に掲載された論文・報告の著作権は執筆者本人に帰属する。ただし、国立情報学研究所の「電子図書館サービスNACSIS-ELS」のホームページ上で全ての論文を公開すること、医学中央雑誌データベースにおいて抄録を公開することを了承のこと。

II 研究論文及び研究報告の執筆要項

1. 投稿区分は以下の通りとする。

総説	本研究センターが対象とする研究分野において、主要な文献内容の総覧で、その内容は、単なる羅列ではなく、特定の視点に基づく体系的なまとまりを持つもの。英文・和文抄録は任意とする。
研究論文	本研究センターが対象とする研究分野において、客観的な事実・データ・資料に基づき論理的で説得的な分析を行って新しい知見を提示しているもの、独創性のある萌芽的研究で発展性が期待できるものなどとする。なお、原則として他の学会誌あるいは出版物に未発表のものとする。口頭発表・事例報告済みのものであっても、客観的な論考を加え論文としての要件を満たす場合は、論文として取り扱うものとする。英文・和文抄録は必須とする。
研究報告	本研究センターが対象とする研究分野において、資料的価値があると判断される実践研究、事例報告、研究資料、海外発表・研修報告、他の学会誌あるいは出版物に既に掲載済みの内容を書き改めたものなどとする。なお、既発表のものをまとめた場合には、そのことを明示すること。英文・和文抄録は任意とする。

2. 原稿の書式及び長さは次の通りとする。

- 1) 本文の書式は、下記の通りとする。

1行25文字×47行とし（印刷仕上がり時の1段分に相当し、1頁は2段組となる）、A4版の用紙（縦置き横書き）に印刷する。文字間隔は0とし、左側に寄せて打ち出すこと。右側の空白部分は指示・注意等の記入欄に使用する。研究論文、研究報告とも図・表・写真のスペースを含めて、30枚（印刷仕上がり時で15頁）以内とする。

- 2) 図・表・写真の取り扱いは次のように行う。

- ①それぞれに通し番号と表題を付ける（図・写真の場合は下部、表の場合は上部にゴシック体で記載）。
- ②スペースは印刷仕上がりの行数で換算し（1段で納めきれない場合は1.5段又は2段使用も可能）、希望する大きさを指示すること。原則的に写真1枚（横置き）は1段12行を取る。

③挿入箇所は原稿の右側欄外に指示するものとする。

3. 原稿全体の体裁は、次の通りとする。

- 1) 1枚目・1行目に和文タイトル（2段使用で3行を取る）。2行目に英文タイトル、3行目に和文氏名（右肩に所属番号をつける）、4行目に英文氏名、ページ下部欄外下に著者の所属（原則的に所属機関名と学部、学科名を記す）を和文で記載する。所属は1) 2) 3)を頭の数字とし、氏名の右肩の番号と一致させる。研究論文は6行目より、英文抄録とし、和文抄録は最終ページに掲載する。研究報告の抄録は最終ページに掲載する。キーワード（5語以内）は記載する。和文抄録は800字以内、英文抄録は250words以内とする。キーワード（5語以内）は、研究論文は英文抄録の後に、研究報告は、英文氏名の後に記載する。本文の後は必要に応じて、脚注、謝辞、付記、文献の順とする。
- 2) 研究論文の原稿はすべて1段組で作成すること。編集の段階で上記のような体裁となる。体裁は編集委員会に一任とする。例えば、表題等の分としてスペースがとられること等である。報告に関しては、2段組の提出でも構わない。

4. 章・節等に見出しを付ける場合には、頭の数字は次のように使用する。

- 章に当たるもの I. II. III. (ゴシック体で記載)
節に当たるもの 1. 2. 3. (ゴシック体で記載)
項に当たるもの 1) 2) 3)

5. 注及び引用文献の記載は、日本語、外国語を問わず引用順に番号を付けて記載する。また、本文中の引用箇所に肩番号^{1) 2) 3)}付ける。

文献は、引用文献のみで参考文献は記載の必要はない。他の文献等を紹介する場合は、注に入れ、著者等を記載する。

・引用文献の場合

1) 2) 3)

引用順に番号をつけて記載する。

本文中の引用箇所に肩番号^{1) 2) 3)}をつける

・注の場合

注1) 注2) 注3)

引用順に番号をつけて記載

本文中に肩番号^{注1) 注2) 注3)}をつける

7. 文献の表記については、次のとおり記述をする。ただし著者名が3名以上の場合は、3名の氏名の後に“他”あるいは“et al.”と表記する。

1) 雑誌の場合

著者名：表題. 雑誌名, 巻(号)：論文所在ページ, 発行西暦年.

- 1) 中川直樹, 外谷かおり, 吉武 裕他：アルペンスキーヤーの技能レベルから見た脚伸展筋力・パワーおよびステッピングにおける両側性功能低下について. 日本スキー学会誌, 9(1)：121-128, 1999.
- 2) King AC, Pruitt LA, Woo S, et al.: Effects of moderate-intensity exercise on polysomnographic and subjective sleep quality in older adults with mild to moderate sleep complaints. J Gerontol A Biol Sci Med Sci, 63(9)：997-1004, 2008.

2) 単行本の場合

①著者名：書名. 版数, 論文所在ページ, 発行所, 発行地, 発行西暦年.

1) 保健体育科学研究会編：保健体育教程. 新訂版, pp.17-22, 技術書院, 東京, 1981.

2) Butt DS: Psychology of sport. 2nd ed., 12-13, Van Nostrand Reinhold, New York, 1987.

②著者名：表題. 編者・監修者名 書名. 版数, 論文所在ページ, 発行所, 発行地, 発行西暦年.

1) 新島龍：日常性の快楽. 市川浩編 技術と遊び. pp. 355-426, 岩波書店, 東京, 1990.

2) Moony J: The Cherokee ball play. In: Harris JC and Park RJ (Eds.) Play, games and sports in cultural contexts. 259-282, Human Kinetics, Champaign, 1983.

8. パソコンで作成した場合、打ち出した原稿とその電子ファイルを収録した記憶媒体（CD等）を添付して提出する。
9. 本研究センターの研究費、および他の関連する研究費の成果報告の場合、その旨を最後の次に「付記」として明記する。

記載例)

本研究は「平成〇〇年度北翔大学北方圏生涯スポーツ研究センターの研究費」を受けて実施された。

Ⅲ 事業報告の執筆要項

1. 事業報告は、別紙1の書式に倣い、研究分野ごとに記載する。
2. 共同研究課題には、各研究分野の研究課題ではなく、北方圏生涯スポーツ研究センターの研究課題を記載する。
3. 構成員について、共同研究員の職名は所属先の職名ではなく、「研究員」とする。
4. 今年度の共同研究の進捗状況・研究成果等（当初予定の達成度）の欄には、進捗状況を簡潔にまとめるほか、研究課題ごとにその達成度をパーセンテージで表記する。
5. 研究論文等公表状況の欄は〔論文発表〕〔図書〕〔学会発表〕〔その他〕に分別して記載する。それぞれの記載方法は以下の通りとし、いずれも本研究員名には下線をつける。また査読ありのものについては、最後に〔査読あり〕と追加する。学会発表の抄録集として学術雑誌に掲載されたものは論文発表には含めない。
 - 1) 論文発表；著者名：表題、雑誌名、巻（号）：論文所在ページ、発行西暦年。
 - 2) 図書；著者名：書名、版数、論文所在ページ、発行所、発行地、発行西暦年。
著者名：表題、編者・監修者名：書名、版数、論文所在ページ、発行所、発行地、発行西暦年。
 - 3) 学会発表；演者名：表題、大会名、学会の開催場所、開催期間。
 - 4) その他；演者等：「プログラム名」、主催団体名、開催場所、開催期間。
6. 論文等は、別刷等の公表された事実・内容が確認できるものを3部添付する。論文にはスポル研究であることを明記している必要があるが、学会発表の抄録についてはこの限りでない。